



## Microsoft Office 365 の設定

- [Microsoft Office 365 予定表統合 \(1 ページ\)](#)
- [Microsoft Office 365 予定表統合のタスクフロー \(1 ページ\)](#)

### Microsoft Office 365 予定表統合

IM and Presence Service を Microsoft Outlook 予定表統合用のホスト型 Office 365 サーバーと統合するように設定できます。この設定により、IM and Presence Service が Office 365 でホストされた Microsoft Outlook からユーザーの予定表情報をプルして、それを IM and Presence ユーザーのプレゼンス ステータスの一部として表示します。Outlook がユーザーが会議中であることを示している場合は、そのステータスがそのユーザーのプレゼンス ステータスに表示されます。

この統合は、15,000 の IM and Presence ユーザーシステムでテストして正常動作が確認されています。このテストでは、5,000 人のユーザーが午前零時に会議を開催しました。

### Microsoft Office 365 予定表統合のタスクフロー

これらのタスクを完了して、IM and Presence Service と Microsoft Outlook 間の予定表統合のために Microsoft Office 365 展開を設定します。

#### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<a href="#">予定表統合のための Office 365 アクセス許可の設定 (2 ページ)</a>	IM and Presence ユーザーが Microsoft Outlook から予定表情報を取得できるように、Office 365 サーバーに偽装権限を設定します。
ステップ 2	<a href="#">Microsoft IM and Presence Service への証明書のアップロード (2 ページ)</a>	IM and Presence Service との統合に必要な Microsoft 証明書をダウンロードします。

## 予定表統合のための Office 365 アクセス許可の設定

Office 365 サーバーでこの手順を使用して、IM and Presence の予定表統合のアクセス許可を設定します。IM and Presence Service と統合するには、Discovery Management に **ApplicationImpersonation** 管理者ロールを割り当てる必要があります。

### 始める前に

この手順は、Office365 の展開が既にセットアップされていることを前提としています。Office 365 の構成については、Microsoft のドキュメントを参照してください。

### 手順

- ステップ 1 Office 365 にログインします。
- ステップ 2 管理者アイコンをクリックします。
- ステップ 3 左側のナビゲーションバーで[管理センター (AdminCenter) ]タブ (左下) を選択し、[Exchange] をクリックします。
- ステップ 4 [アクセス許可 (Permissions) ]で、[管理者の役割 (Admin role) ]を選択します。
- ステップ 5 [Discovery Management] を選択します。
- ステップ 6 鉛筆アイコンをクリックして役割の割り当てを編集します。
- ステップ 7 次の手順を実行して、役割 **ApplicationImpersonation** を追加します。
  - a) [役割 (Roles) ]で [+] をクリックします。
  - b) [ApplicationImpersonation] を選択して [追加 (Add) ] をクリックします。
  - c) [OK] をクリックします。
- ステップ 8 ApplicationImpersonation のメンバーとしてユーザーを割り当てます。
  - a) [メンバー (Members) ]で [+] をクリックします。
  - b) 追加するユーザーを選択し、[追加 (Add) ] をクリックします。
  - c) [OK] をクリックします。
- ステップ 9 [保存 (Save) ] をクリックします。

### 次のタスク

[Microsoft IM and Presence Service への証明書のアップロード \(2 ページ\)](#)

## Microsoft IM and Presence Service への証明書のアップロード

IM and Presence Service と Office 365 展開が通信するには、IM and Presence Service に Microsoft 証明書をインストールする必要があります。

## 手順

---

**ステップ 1** Office 365 ルート証明書と中間証明書をダウンロードします。

- <https://support.office.com/en-us/article/office-365-certificate-chains-0c03e6b3-e73f-4316-9e2b-bf4091ae96bb> には、Office 365 がサポートするすべてのルート証明書と中間証明書が一覧表示されています。

**ステップ 2** すべての証明書を IM and Presence Service の **cup-trust** および **tomcat-trust** ストアにアップロードします。

---



- (注) IM and Presence Service の証明書の詳細については、『*IM and Presence Service* の設定および管理ガイド』の「IM and Presence Service のセキュリティ設定」の章を参照してください。
- 

## 次のタスク

[IM and Presence 予定表統合のタスクフロー](#)



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。